第31号様式（第76条関係）

作成例（３箇年計画の場合）

自動車排出ガス対策計画書

令和○○年○○月○○日

香 川 県 知 事 殿

提出者

住所 ○○○○○○○○○○○○○○○○

株式会社 ○○○○

氏名 代表取締役 ○○○○

（法人にあっては、その名称及び代表者氏名）

香川県生活環境の保全に関する条例第106条第1項の規定により、自動車排出ガス対策計画を作成したので提出します。

|  |  |
| --- | --- |
| 主たる事業所の名称 | 株式会社 ○○○○ 高松本社 |
| 主たる事業所の所在地 | ○○○○○○○○○○○○○○○○ |
| 計画の内容 | 別紙のとおり |
| 計画期間 | 2022年度 ～ 2025年度 |
| 計画の公表予定年月日 | 2022年○○月○○日 |
| 計画の公表の方法 | 弊社ホームページに掲載し、インターネット利用により公表する。 |
| 連絡先 | 担当部署 ○○○○部○○○○課○○○○グループ担当者 ○○ ○○電話番号 ○○○－○○○－○○○○ＦＡＸ番号 ○○○－○○○－○○○○電子メールアドレス ○○○○○○○○○○○○○ |

備考 　 用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列4番とすること。

自動車排出ガス対策計画

|  |  |
| --- | --- |
| 計画の対象期間 | 2022年4月1日～○○年3月31日 |

１ 事業所ごとの自動車の使用台数

（2022年3月31日現在）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 整理番号 | 1 | 2 | 3 | 合計 |
| 事業所の名称 | 本社 | 丸亀営業所 | 観音寺営業所 | － |
| 事業所の所在地 | 高松市○○町○-○-○ | 丸亀市○○町○-○-○ | 観音寺市○○町○-○-○ | － |
| 連絡先電話番号 | 087-○○○-○○○○ | 0877-○○-○○○○ | 0875-○○-○○○○ | － |
| 従業員数 （人） | 40 | 30 | 30 | 100 |
| 運転者数 （人） | 30 | 15 | 15 | 60 |
| 使用台数 （台） | ①普通貨物自動車 | 10 | 5 | 4 | 19 |
| ②小型貨物自動車 | 3 | 2 | 1 | 6 |
| ③大型バス(定員30人以上) | 2 |  |  | 2 |
| ④マイクロバス(定員11人以上30人未満) | 1 | 2 |  | 3 |
| ⑤乗用自動車 | 15 | 10 | 10 | 35 |
| ⑥特種自動車 |  |  |  | 0 |
| 合計台数 | 31 | 19 | 15 | 65 |

自動車の使用に伴う二酸化炭素の年間排出量 　　（2021年度）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 年間の燃料使用量 | ガソリン | 軽油 | 都市ガス (ＣＮＧ)  | ＬＰＧ |
| （kL） | 台数 | （kL） | 台数 | （千㎥） | 台数 | （ｔ） | 台数 |
|  | 本社 | 40.0 | 15 | 57.0 | 15 | 5.0 | 1 | 0 | 0 |
|  | 丸亀営業所 | 25.0 | 10 | 34.0 | 9 | 0 | 0 | 0 | 0 |
|  | 観音寺営業所 | 20.0 | 10 | 19.0 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 |
|  | 合 計 [ａ] | 85.0 | 35 | 110.0 | 29 | 5.0 | 1 | 0 | 0 |
| 二酸化炭素排出係数 [ｂ] | 2.322 t-CO2/kL | 2.619 t-CO2/kL | 2.080 t-CO2/千㎥ | 3.000 t-CO2/t |
| 二酸化炭素排出量 [ａ×ｂ] | 197.4 t-CO2 | 288.1 t-CO2 | 10.4 t-CO2 | 0 t-CO2 |
| 二酸化炭素排出量の合計 | 495.9 t-CO2 |

２ 自動車の使用に伴う大気環境の負荷の低減を図るための方針

自動車は、窒素酸化物や浮遊粒子状物質などの大気汚染物質のほか、地球温暖化の原因物質である二酸化炭素を排出ガスとして大気環境中に放出することから、事業活動における自動車の使用に伴う大気環境の負荷の低減を図るため、次の方針により取り組むこととする。

○ 我々の生活環境や地球環境を守るため、自動車を使用する我々自身が排出ガスによる大気汚染者であり、温室効果ガスの排出者であることを認識し、自動車の使用に伴う大気環境の負荷の低減に努める。

○ 自動車の効率的な使用等により、自動車の使用をできるだけ抑制するとともに、整備点検を確実に実施し、アイドリングストップやエコドライブを徹底して、排出ガスを減少させるよう努める。

○ 自動車の新規購入または更新に当たっては、低公害車を積極的に導入する。

○ この自動車排出ガス対策計画について、従業員への十分な周知を行い、社内一体となって取り組みを推進していく。

○ この自動車排出ガス対策計画を実施することにより、計画期間中に、年間の二酸化炭素排出量を対基準年度（2018年度）比で80％まで削減することを目標とする。

３ 低公害車等の導入に係る事項

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 自動車区分 | 2022年度末時点の台数 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 | 2025年度末時点の台数 |
| 減少台数 | 増加台数 | 減少台数 | 増加台数 | 減少台数 | 増加台数 |
| 総自動車台数（低公害車等を含む） | 65 | 7 | 5 | 7 | 6 | 10 | 8 | 60 |
| 低公害車等の台数 | ① 天然ガス自動車 | 1 |  | 1 |  | 1 |  | 1 | 4 |
| ② 電気自動車 | 0 |  |  |  |  |  |  | 0 |
| ③ ハイブリッド自動車 | 2 |  | 1 |  | 1 |  | 2 | 6 |
| ④ メタノール自動車 | 0 |  |  |  |  |  |  | 0 |
| ⑤ 低燃費かつ低排出ガス認定車 | 10 |  | 3 | 1 | 4 |  | 4 | 20 |
| ⑥ その他の排出ガスの排出量が少ない自動車（ ） | 0 |  |  |  |  |  |  | 0 |
| 合計 （①～⑥） | 13 |  | 5 | 1 | 6 |  | 7 | 30 |
| 排出ガス低減装置装着車の台数 | 5 |  | 1 |  |  | 1 | 1 | 6 |
| ≪参考≫軽自動車（二輪除く）の台数 | 30 | 3 | 3 | 2 | 3 | 2 | 4 | 33 |

４ 自動車の使用抑制、並びに適正な整備及び運転の実施に係る事項

|  |  |
| --- | --- |
| 項 目 | 内 容 |
| 自動車の使用抑制 | ⦁ 運送業者による輸送を一部導入し、自家用貨物自動車による輸送からの転換を図る。⦁ 最大積載量で運行できるよう、車種構成を改善し、荷の量に合った適切な車両を使用する。 |
| 自動車の適正な整備 | ⦁ 日常点検・整備マニュアルを作成し、エンジンオイルの適正な選択・定期的な交換、適正なタイヤ空気圧の維持など、十分な点検整備の方法を定めて従業員に周知する。⦁ 管理責任者を設置し、運転日報をチェックすることにより、点検整備の実施を徹底する。 |
| 自動車の適正な運転 | ⦁ 毎年1回、従業員に対してエコドライブの講習を行い、アイドリングストップ、急発進・急加速運転の削減など、エコドライブの実施に努める。 |

５ 自動車排出ガス対策計画の推進体制

≪体制図≫

報告

本計画の総合的な実施責任者 役職○○ 氏名○○○○

本社 社内の推進責任者 ○○○○

・低公害車等の導入に関する所管

○○○部○○○課 ○○○○

・適正な整備点検に関する所管

○○○部○○○課 ○○○○

・エコドライブ、使用抑制等に関する所管

○○○部○○○課 ○○○○

指示

報告

丸亀営業所 所内の推進責任者 ○○○○

・適正な整備点検に関する所管

○○○課 ○○○○

・エコドライブ、使用抑制等に関する所管

○○○課 ○○○○

指示

観音寺営業所 所内の推進責任者 ○○○○

・適正な整備点検に関する所管

○○○課 ○○○○

・エコドライブ、使用抑制等に関する所管

○○○課 ○○○○

≪推進方法≫

本社及び各営業所内の推進責任者は、毎年度、計画に記載した取り組みの実施状況を確認し、各営業所内の実施状況は本社の推進責任者に4月末までに報告する。

本社の推進責任者は、全体の取り組みについて確認を行い、実施状況が不十分な項目があれば、その原因究明と適切な措置を行うよう指示する。

それらの結果については、本計画の総合的な実施責任者が最終確認し、必要な場合には計画の見直しを行うよう指示する。